

科目名	英語B2 (Level 1)			ナンバリング	FLP321	授業形態	演習
対象学年	1 年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	ティモシー クック	担当教員	ティモシー クック、鯨岡 アリソン				

授業の概要	本授業では、英語のリスニングおよびスピーキングの技能を中心に、専門分野で英語を活用することを視野に入れ、基本的な運用能力の向上を図ることを目的とする。リスニングおよびスピーキングの基本的なストラテジーを習得し、専門分野につながる話題にも慣れながら、様々な活動を通して、授業内において意味のある英語の運用を心掛け、リーディングおよびライティングの技能も活用した総合的な運用能力の向上を図る。また、授業外に英語に接することを重視する視点から、学生が自律的な学習者となることを、授業での様々な活動、課題、小テスト、e-learning 等により指導する。						
到達目標	1. 英語の文法、語彙、音声に関する基本的な知識を活用することができる。 2. リスニングについての基本的なストラテジーを運用することができる。 3. スピーキングについての基本的なストラテジーを運用することができる。 4. リーディングおよびライティングの技能との基本的な連動ができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	新しいユニットに入る際には内容についての自分なりの背景知識を整理して臨むこと。授業後は内容を振り返り、新たに学んだ事柄について自分なりに整理すること。英語を用いてアカデミックスキルを習得することを意識して授業に臨むこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
		3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
		4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 各ユニットの文法、語彙、音声に関する知識を運用できる。 2. 各ユニットのリスニングのストラテジーを運用できる。 3. 各ユニットのスピーキングのストラテジーを運用できる。 4. 各ユニットの課題の中でリーディングおよびライティングの技能との連動を図ることができる。	1. 各ユニットの文法、語彙、音声に関する知識を効果的かつ継続的に運用できる。 2. 各ユニットのリスニングのストラテジーを効果的かつ継続的に運用できる。 3. 各ユニットのスピーキングのストラテジーを効果的かつ継続的に運用できる。 4. 各ユニットの課題の中でリーディングおよびライティングとの連動を効果的に行い、専門分野での英語の運用を積極的に行うことができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
授業参加の姿勢	○	○	○	○	○	○	60%
課題・小テスト	○	○	○		○	○	40%
自律的学習							

課題、評価のフィードバック	1. 授業中の活動状況については、適宜コメントを与える。 2. リスニングおよびスピーキングのストラテジーが活用できているかどうかについて随時確認する。 3. ユニットごとの課題については、適宜コメントを与える。 4. 自律的学習については、進捗状況を確認し、必要に応じてコメントを与える。
---------------	--

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	Talking about other countries	前期の振り返り / ユニット8の内容紹介	
	第2回	Talking about other countries, continued	Unit 8	
	第3回	Talking about experiences	Unit 8 Quiz Unit 9	
	第4回	Talking about experiences, continued	Unit 9	
	第5回	Talking about places	Unit 9 Quiz Unit 10	
	第6回	Talking about places, continued	Unit 10	
	第7回	Talking about Japanese things	Unit 10 Quiz Unit 12	
	第8回	Talking about Japanese things, continued	Unit 13	
	第9回	Talking about future events	Unit 12 Quiz Unit 13	
	第10回	Talking about future events, continued	Unit 13	
	第11回	Talking about school	Unit 13 Quiz Unit 14 Practice presentations	
	第12回	Talking about school, continued	Unit 14	
	第13回	Talking about sickness & health	Unit 14 Quiz Unit 16 Practice presentations	
	第14回	Talking about sickness & health, continued	Unit 16 Presentations	
	第15回	Review	Unit 16 Quiz Presentations	
	試験	定期試験は実施しない		
授業の進め方		授業において意味のある英語の運用を行うことを念頭に、様々な活動において学生の積極的な参加を求める。		
授業外学習の指示		積極的な授業の参加につながるよう教員の指示に基づき授業外での自律的学習に努めること。 （授業外学習時間： 毎週 90 分）		

教科書	Talk a Lot, Book 1 (Second Edition), David Martin 著、出版社, EFL Press, 刊行年2003年、ISBN: 4580244420117
参考書	
参考URLなど	http://www.eflpress.com/JP/books/book1.html
その他	学期始めに担当教員が「評価割合」箇所の細かな活動と評価法を示すため、第一回目の授業は必ず出席すること。もし欠席した場合は、自ら担当教員に問い合わせをすること。

科目名	英語B2 (Level 2)			ナンバリング	FLP321	授業形態	演習
対象学年	1 年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	ティモシー クック	担当教員	ティモシー クック、鯨岡 アリソン				

授業の概要	本授業では、英語のリスニングおよびスピーキングの技能を中心に、専門分野で英語を活用することを視野に入れ、基本的な運用能力の向上を図ることを目的とする。リスニングおよびスピーキングの基本的なストラテジーを習得し、専門分野につながる話題にも慣れながら、様々な活動を通して、授業内において意味のある英語の運用を心掛け、リーディングおよびライティングの技能も活用した総合的な運用能力の向上を図る。また、授業外に英語に接することを重視する視点から、学生が自律的な学習者となることを、授業での様々な活動、課題、小テスト、e-learning 等により指導する。						
到達目標	1. 英語の文法、語彙、音声に関する基本的な知識を活用することができる。 2. リスニングについての基本的なストラテジーを運用することができる。 3. スピーキングについての基本的なストラテジーを運用することができる。 4. リーディングおよびライティングの技能との基本的な連動ができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	新しいユニットに入る際には内容についての自分なりの背景知識を整理して臨むこと。授業後は内容を振り返り、新たに学んだ事柄について自分なりに整理すること。英語を用いてアカデミックスキルを習得することを意識して授業に臨むこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
		3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
		4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 各ユニットの文法、語彙、音声に関する知識を運用できる。 2. 各ユニットのリスニングのストラテジーを運用できる。 3. 各ユニットのスピーキングのストラテジーを運用できる。 4. 各ユニットの課題の中でリーディングおよびライティングの技能との連動を図ることができる。	1. 各ユニットの文法、語彙、音声に関する知識を効果的かつ継続的に運用できる。 2. 各ユニットのリスニングのストラテジーを効果的かつ継続的に運用できる。 3. 各ユニットのスピーキングのストラテジーを効果的かつ継続的に運用できる。 4. 各ユニットの課題の中でリーディングおよびライティングとの連動を効果的に行い、専門分野での英語の運用を積極的に行うことができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
授業参加の姿勢	○	○	○	○	○	○	60%
課題・小テスト	○	○	○		○	○	40%
自律的学習							

課題、評価のフィードバック	1. 授業中の活動状況については、適宜コメントを与える。 2. リスニングおよびスピーキングのストラテジーが活用できているかどうかについて随時確認する。 3. ユニットごとの課題については、適宜コメントを与える。 4. 自律的学習については、進捗状況を確認し、必要に応じてコメントを与える。
---------------	---

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	Unit 5 Architecture	ユニット5の内容紹介	
	第2回	Unit 5 Architecture	Listening 1	
	第3回	Unit 5 Architecture	Listening 2	
	第4回	Unit 5 Architecture / Unit 6 Health Sciences	Unit Assignment / ユニット6の内容紹介	
	第5回	Unit 6 Health Sciences	Listening 1	
	第6回	Unit 6 Health Sciences	Listening 2	
	第7回	Unit 6 Health Sciences	Unit Assignment	
	第8回	Unit 7 Urban Planning	ユニット7の内容紹介	
	第9回	Unit 7 Urban Planning	Listening 1	
	第10回	Unit 7 Urban Planning	Listening 2	
	第11回	Unit 7 Urban Planning	Unit Assignment	
	第12回	Unit 8 Developmental Psychology	ユニット8の内容紹介	
	第13回	Unit 8 Developmental Psychology	Listening 1	
	第14回	Unit 8 Developmental Psychology	Listening 2	
	第15回	Unit 8 Developmental Psychology	Unit Assignment	
	試験	定期試験は実施しない		
授業の進め方		授業において意味のある英語の運用を行うことを念頭に、様々な活動において学生の積極的な参加を求める。		
授業外学習の指示		積極的な授業の参加につながるよう教員の指示に基づき授業外での自律的学習に努めること。 （授業外学習時間： 毎週 90 分）		

教科書	Q:Skills for Success Listening and Speaking Intro, Second Edition, Kevin McClure & Mari Vargo著、出版社 Oxford University Press, 刊行年2015年、ISBN: 978-0-19-481807-0
参考書	
参考URLなど	
その他	学期始めに担当教員が「評価割合」箇所の細かな活動と評価法を示すため、第一回目の授業は必ず出席すること。もし欠席した場合は、自ら担当教員に問い合わせをすること。

科目名	英語B2 (Level 3)			ナンバリング	FLP321	授業形態	演習
対象学年	1 年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	ティモシー クック	担当教員	ティモシー クック、鯨岡 アリソン				

授業の概要	本授業では、英語のリスニングおよびスピーキングの技能を中心に、専門分野で英語を活用することを視野に入れ、基本的な運用能力の向上を図ることを目的とする。リスニングおよびスピーキングの基本的なストラテジーを習得し、専門分野につながる話題にも慣れながら、様々な活動を通し、授業内において意味のある英語の運用を心掛け、リーディングおよびライティングの技能も活用した総合的な運用能力の向上を図る。また、授業外に英語に接することを重視する視点から、学生が自律的な学習者となることを、授業での様々な活動、課題、小テスト、e-learning 等により指導する。						
到達目標	1. 英語の文法、語彙、音声に関する基本的な知識を活用することができる。 2. リスニングについての基本的なストラテジーを運用することができる。 3. スピーキングについての基本的なストラテジーを運用することができる。 4. リーディングおよびライティングの技能との基本的な連動ができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	新しいユニットに入る際には内容についての自分なりの背景知識を整理して臨むこと。授業後は内容を振り返り、新たに学んだ事柄について自分なりに整理すること。英語を用いてアカデミックスキルを習得することを意識して授業に臨むこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
		3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
		4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 各ユニットの文法、語彙、音声に関する知識を運用できる。 2. 各ユニットのリスニングのストラテジーを運用できる。 3. 各ユニットのスピーキングのストラテジーを運用できる。 4. 各ユニットの課題の中でリーディングおよびライティングの技能との連動を図ることができる。	1. 各ユニットの文法、語彙、音声に関する知識を効果的かつ継続的に運用できる。 2. 各ユニットのリスニングのストラテジーを効果的かつ継続的に運用できる。 3. 各ユニットのスピーキングのストラテジーを効果的かつ継続的に運用できる。 4. 各ユニットの課題の中でリーディングおよびライティングとの連動を効果的に行い、専門分野での英語の運用を積極的に行うことができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
授業参加の姿勢	○	○	○	○	○	○	60%
課題・小テスト	○	○	○		○	○	40%
自律的学習							

課題、評価のフィードバック	1. 授業中の活動状況については、適宜コメントを与える。 2. リスニングおよびスピーキングのストラテジーが活用できているかどうかについて随時確認する。 3. ユニットごとの課題については、適宜コメントを与える。 4. 自律的学習については、進捗状況を確認し、必要に応じてコメントを与える。
---------------	---

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	Unit 5 Psychology	ユニット5の内容紹介	
	第2回	Unit 5 Psychology	Listening 1	
	第3回	Unit 5 Psychology	Listening 2	
	第4回	Unit 5 Psychology / Unit 6 Philosophy	Unit Assignment / ユニット6の内容紹介	
	第5回	Unit 6 Philosophy	Listening 1	
	第6回	Unit 6 Philosophy	Listening 2	
	第7回	Unit 6 Philosophy	Unit Assignment	
	第8回	Unit 7 Behavioral Science	ユニット7の内容紹介	
	第9回	Unit 7 Behavioral Science	Listening 1	
	第10回	Unit 7 Behavioral Science	Listening 2	
	第11回	Unit 7 Behavioral Science	Unit Assignment	
	第12回	Unit 8 Psychology	ユニット8の内容紹介	
	第13回	Unit 8 Psychology	Listening 1	
	第14回	Unit 8 Psychology	Listening 2	
	第15回	Unit 8 Psychology	Unit Assignment	
	試験	定期試験は実施しない		
授業の進め方		授業において意味のある英語の運用を行うことを念頭に、様々な活動において学生の積極的な参加を求める。		
授業外学習の指示		積極的な授業の参加につながるよう教員の指示に基づき授業外での自律的学習に努めること。 （授業外学習時間： 毎週 90 分）		

教科書	Q:Skills for Success Listening and Speaking I, Second Edition, Jamie Scanlon著、出版社 Oxford University Press, 刊行年2015年、ISBN: 978-0-19-481840-7
参考書	
参考URLなど	
その他	学期始めに担当教員が「評価割合」箇所の細かな活動と評価法を示すため、第一回目の授業は必ず出席すること。もし欠席した場合は、自ら担当教員に問い合わせをすること。

ループリック

評価規準 項目／観点		レベル高 ← 評価基準 → レベル低		
		例：模範的、レベル3	例：標準、合格、レベル2	例：要改善、不合格、レベル1
1	英語に関する知識	英語を用いて大学での専門分野の学習行うための語彙、文法、音声等の知識を十分に持っている。	英語を用いて大学での専門分野の学習行うために必要な語彙、文法、音声等の知識を持っている。	英語を用いて大学での専門分野の学習行うために必要な語彙、文法、音声等の知識が不足している。
2	英語リーディング技能	リスニングに関してのストラテジーを効果的に運用することができる。	リスニングに関してのストラテジーを必要に応じて運用することができる。	リスニングに関してのストラテジーの運用が不適切である。
3	英語スピーキング技能	スピーキングに関してのストラテジーを効果的に運用することができる。	スピーキングに関してのストラテジーを必要に応じて運用することができる。	スピーキングに関してのストラテジーの運用が不適切である。
4	4技能の連携	習得したリスニングとスピーキングの技能をリーディングおよびライティングの技能とも有機的にかつ効果的に連動させ、英語を専門分野で効果的に活用することができる。	習得したリスニングとスピーキングの技能をリーディングおよびライティングの技能とも有機的に連動させ、専門分野における英語の基本的な運用ができる。	習得したリスニングとスピーキングの技能のリーディングおよびライティングの技能との連動が充分でなく、専門分野における英語の基本的な運用に至らない。
5				
6				
7				